

開倫塾 塾生・保護者各位

No. 7 「辞書を活用する習慣を身に着けよう」

「開倫塾 12 の躰(しつけ)プログラム」で「学習習慣」を身に着けよう

開倫塾

塾長 林 明夫

Q 1 : どのようなときに辞書で調べたらよいのですか。

- A : (1)開倫塾のテキストや教材、問題集、学校の教科書や資料集などありとあらゆる教材を勉強していて、意味のよくわからない語句に出会ったら、「気持ちが悪い」と考え、辞書を用いて調べることが大切です。
- (2)大切なのは、意味のよくわからない語句に出会ったら、「気持ちが悪い」と考えることです。
- (3)時間があまりなければ、意味がよくわからなくてもスルーしてしまえばよい、読みとばして大体の意味がわかればよいという場合もあります。しかし、できるだけ、意味のわからない語句はそのまま放置しないで、辞書を用いて意味を確かめ、十分に「理解」したほうがよいと考えます。

Q 2 : 辞書で意味を調べたあとは、どうすればよいのですか。

- A : (1)「調べた意味」は「ノート」や「カード」に書き写すことです。
- (2)意味を書き写したら、「音読練習」や「書き取り練習」をして、その意味を正確に覚えること、正確に書けるまでにすることです。
- (3)一度調べた「語句」と「その意味」を正確に覚え、正確に書けるまでにすることで身に着けている「ことばの数」が一気に増えます。

Q 3 : 「意味調べノート」や「単語カード」は、そんなに役に立つのですか。

- A : (1)一度作成した「意味調べノート」や「単語カード」は、1 ページ目から、又、1 枚目から昨日作成したところまで、毎日、声を出して読むことです。知らないうちに全部覚えられます。
- (2)その意味も含めて、よく書けなそうな語句は繰り返し「書き取り練習」をすることです。必ず正確に書けるようになります。

- (3)①一度作成した「意味調べノート」や「単語カード」は決して処分しないで、一生保存し、繰り返し読み直しましょう。
- ②短い期間の記憶が長い期間の記憶になり、記憶の痕跡が残り、忘れることがどんどん減ってきます。
- ③辞書で調べた語句のすべてを身に着けることができます。

Q 4 : 英語はどのような辞書を使えばよいのですか。

- A : (1)①英和辞典、和英辞典、英英辞典の3つの辞書を使いこなしましょう。
- ②どの辞書も初級用、中級用、上級用がありますので、自分の英語のレベルに合わせて活用してくださいね。
- ③電子辞書でも紙の辞書でも OK です。どちらも使いこなせるようにしておくとう便利です。
- (2)①電子辞書は、持ち運びに便利です。紙の辞書は、落ち着いてじっくり勉強するのに便利です。
- ②学校によっては、試験のときに紙の辞書のみ持ち込み可の場合があります。電子辞書にはパソコン機能がついていることがあるからです。
- ③紙の辞書は普段から使い込んでいないと、パツ、パツ、パツと調べることができず、役に立ちません。高校卒業までに、電子辞書と紙の辞書の両方を使いこなせるようにしておいてください。一生にわたって必ず役に立ちますよ。

「英英辞典」にも少しずつ慣れ、使いこなそう

- (1)「英英辞典」とは、英語の意味が英語で書いてある辞典です。
- (2)英語の学習に少し慣れてきたら積極的に使って、できるだけ早く使いこなしましょう。
- (3)「英英辞典」にも、「入門用」「初級用」「中級用」「上級用」と、学習者のレベルに応じたものがあります。自分の英語能力に応じたものを選び、積極的に使いこなしてください。
- *英語で様々なことを説明するときには役に立ちますよ。

Q 5 : 家には辞書がないのですが、どうすればよいですか。

- A : (1)「学校図書館」や「公共図書館」には、すべての辞書があります。
- (2)図書館が使えるようになったら、毎日でも図書館に行き、ありとあらゆる辞書を使いこなしてください。
- (3)「ことばは力」です。ことばの力を身に着けるのに一番役に立つのは「辞書」です。「辞書」を使いこなしましょう。

Q6 : ところで、身に着けていることばの数は多いほうがよいのですか。

A : (1)①当然です。普段の生活をするときも、学校で授業を受けるときも、仕事や社会的活動をするときも、目の前に書いてある「ことば」の意味がわからなければ、先に進みません。

②他人と話をしているとき、学校で授業を聞くとき、仕事や社会的活動をするときに、そこで話され、聞こえてくることばの意味がよくわからなければ大変です。

③1つ1つの「ことば」の意味がよくわからなければ、自分が考えたり、話をしたり、書いたりするときにとっても困ります。

(2)①このように、「ことば」の「意味」を知り、「読める」「聞き取れる」「書ける」「話せる」こと、つまり、そのことばを「身に着ける」ことはとても大切です。

②「自分が身に着けていることばの数」は、少ないよりは多いほうがよいことは当然です。

③1つ1つの教科には、教科ごとに用いられることばが1000、2000と、1000単位であります。

(3)①同様に、1つ1つの仕事や社会的活動にも、その仕事や活動ごとに用いられることばが1000、2000と、1000単位であります。

②「こんにちは」「元気ですか」「おやすみなさい」など「あいさつ」のことばを使いこなすことも大切ですが、「生活で用いることば」「学校で用いることば」「仕事や社会的活動で用いることば」など様々な分野で用いる1000単位のことばも大切です。

③少し大変かもしれませんが、わからない語句に出会ったら、「気持ちが悪い」と考え、必ず辞書で調べる。

- ・調べたことは「意味調べノート」か「単語カード」に書き写し、正確に読めて、書けるようにする。

- ・「意味調べノート」や「単語カード」は、いつも1ページ目から、1枚目から読み直し、全部正確に覚え、正確に使えるようにする。

(4)このようにして、身に着けていることばの数をどんどん増やしていきましょう。

以上